広報ひこね
通巻第1262号
（平成24年3月1日発行）

春の火災予防運動
消したはず 決めつけないで もう一度
3月1日(木)～7日(水)

火災予防運動は、一人一人が火災予防に対する意識を高めていただくことにより、火災の発生を防止し、火災から尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。家庭や地域から火災が発生しないよう火の取り扱いにじゅうぶん注意しましょう。

住宅防火
いのちを守る7つのポイント
～3つの習慣・4つの対策～

3つの習慣

①寝たばこは、絶対しない。
②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
②寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
③火災を小さいうちに消すために住宅用消火器などを設置する。
④お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

火災・救助・救急事故の発生状況

㊢消防本部では、管内（彦根市と犬上郡）で発生した火災・救助・救急事故状況を統計にまとめ、公表しています。

火災概要

平成23年に発生した火災は87件で、前年と比べ20件の増加しています（表1）。

火災の種類別では、「建物火災」が31件、「車両火災」が9件、「その他の火災」が47件です。

構成比別では、「建物火災」が36%、「車両火災」が10%、「その他の火災」が54%です。

火災の原因は、第1位が「放火・放火の疑い」31件、第2位が「たき火」13件、第3位が「たばこ」8件、次いで「こんろ」5件、「火遊び」4件の順です。

救助・救急概要

平成23年の救助出場件数は48件で、前年に比べ2件減少し、内訳は、「交通事故」33件、次いで「その他の事故」13件です（表2）。

一方、救急出場件数は5,473件で、前年に比べ457件の大幅な増加です（表3）。これは1日当たり約15件出場したことになり、救急車により搬送された人も5,151人と前年に比べ381人増加しました。

問い合わせ先　㊢消防本部予防課
☎22-0332、FAX22-9427

表1 火災

	平成22年	平成23年
出火件数	67	87
建物火災	30	31
林野火災	1	
車両火災	9	9
その他の火災	27	47
原因		
第1位	放火・放火の疑い	放火・放火の疑い
第2位	たばこ・たき火	たばこ・たき火
第3位	こんろ	こんろ
死者	1	1
負傷者	10	11

表2 救助

出場件数	48
交通事故	33
水難事故	
機械事故	
建物事故	2
その他の事故	13
活動件数	15
救助人員	15

表3 救急

出場件数	5,473
火災	7
水難	1
交通事故	717
労働災害	32
運動競技	28
一般負傷	751
加害	29
自損行為	87
急病	3,621
その他	200
搬送件数	5,025
搬送人員	5,151

発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行

▼「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▼この「広報ひこね」は49,150部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。
VEGETABLE OIL INK

「ひこね丼」に舌鼓

表紙の写真

2月12日、ひこね市文化プラザのグランドホールロビー（野瀬町）で、「ひこね丼」の出張販売が行われました。

用意された「ひこね丼」は6種類・300食でしたが、終了予定の午後1時よりよりも30分も早く、売り切れとなりました。

ロビー横の食事スペースでは、買ったばかりの丼を早速ほおばる家族連れなどの姿が見られました。

協力販売店の「ひこね丼」に付いている箸袋を3枚集めると、ひこにゃんグッズがもらえるキャンペーンを実施中（3月31日㈯まで先着順）。

協力販売店などの詳細情報は、彦根市ホームページをご覧ください。

人口と世帯数

平成24年2月1日現在

人口	112,450人	(+53)
男	55,548人	(+27)
女	56,902人	(+26)
世帯数	44,092世帯	(+40)

（　）内は前月との比較